



第3次 葛飾区

環境基本計画

みんなで作る 人や自然にやさしく持続可能なまち かつしか



令和4年3月

 葛飾区

葛飾区環境基本計画（第3次）の策定に当たって

本区では、2011(平成23)年3月に第2次葛飾区環境基本計画を策定し、「人と自然が共存できる環境を未来へつなぐまち・かつしか」を基本理念として、地球温暖化対策や生物多様性の保全、花いっぱいのもちづくり、ごみ減量・3Rの推進など、環境に係る施策を着実に進めてまいりました。

しかし、計画策定後、環境を取り巻く状況は大きく変化しました。2019(令和元)年10月に発生した台風19号をはじめ、大型台風や豪雨などの自然災害が頻発化しており、気候変動問題は喫緊の課題となっています。本区は、こうした動向を踏まえ、2020(令和2)年2月に都内の区市町村では初めて、「2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量実質ゼロ」を目指す「ゼロエミッションかつしか」を宣言したところです。

また、新型コロナウイルス感染症の流行やSDGs（持続可能な開発目標）の広がりを背景に、持続可能な社会の構築が求められています。

こうした状況を踏まえ、第3次葛飾区環境基本計画を策定いたしました。本計画では、「みんなでつくる 人や自然にやさしく持続可能なまち かつしか」を新たな将来像として決めました。SDGsの理念でもある「経済」「社会」「環境」の3側面での統合的な向上を図り、自然環境の恵み豊かな持続可能なまちを次世代に継承するため、区民・事業者・区の連携・協働により各取組を進めてまいります。

そして、本計画では、ゼロエミッションかつしかの実現に向け、温室効果ガス排出量を2030(令和12)年度までに2013(平成25)年度比で50%削減することを目標として掲げました。目標達成のため、再生可能エネルギーへの転換やエネルギー利用の効率化などに係る各取組をより一層推進する必要があります。そのため、これまで以上に区民や事業者の皆様と連携・協働し、一緒に脱炭素社会の構築を図ってまいりたいと思います。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、「葛飾区環境基本計画策定委員会」において議論を重ね、貴重なご意見やご提言をいただきました。策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

2022(令和4)年3月

葛飾区長 青木 克徳



目次

第1章 計画の基本的事項.....	1
1.1 計画策定の背景.....	1
1.2 計画策定の目的.....	3
1.3 計画の位置付け.....	3
1.4 計画の範囲.....	4
1.5 計画の期間.....	4
1.6 計画の担い手.....	5
1.7 持続可能な開発目標（SDGs）と本計画の関係.....	6
第2章 葛飾区の地域概況.....	8
2.1 葛飾区の地域概況.....	8
第3章 計画の目標.....	12
3.1 基本理念.....	12
3.2 望ましい将来像.....	12
3.3 基本目標.....	14
3.4 計画の体系.....	16
第4章 施策の展開.....	18
基本目標1 オールかつしかの連携・協働.....	18
基本目標2 気候変動に対するさらなる取組の強化.....	45
基本目標3 資源循環型地域社会の形成.....	74
基本目標4 多様な生きものとの共生.....	85
基本目標5 誰もが健康で快適に住み続けられるまち.....	98
第5章 区民・事業者の環境行動.....	107
第6章 計画の推進.....	116
6.1 計画の推進体制及び進行管理.....	116
6.2 進捗管理指標.....	117
資料編.....	120
計画策定の経過.....	120
葛飾区環境基本計画策定委員会 委員名簿.....	122
温室効果ガス排出量の推計方法.....	123
SDGsの17のゴールと葛飾区環境基本計画の基本目標の関連.....	130
コラム一覧.....	133
用語解説.....	134

